

利賀っ子だより



R3. 11. 11

○ 高学年宿泊学習に行ってきました

11月8日(月)～10日(水)の2泊3日の日程で砺波青少年自然の家で高学年の宿泊学習を行いました。

武蔵野市と利賀地域の交流の担い手として9月に武蔵野市を訪問する予定でしたが、コロナ禍のため中止。代替として9月に県内での宿泊学習を計画していましたが、県内の警戒レベルがステージ3の時期でしたので、場所と時期を変更し、ようやく実施することができました。

砺波青少年自然の家の所長さんをはじめ、所員の方々のご配慮で万全のコロナ対策の中、宿泊学習を無事終わることができました。また、天候によるプログラムの変更にも柔軟に対応くださり、子供たちは、自分たちのために尽力してくださることに感謝しながら活動を楽しんでいました。

私は、これまで何度も宿泊学習に参加してきましたが、「さすが利賀っ子」と関心する場面がいくつもありました。利賀小学校では、高学年の一人一人があらゆる場面でリーダーとして活動することが求められます。このことが、場所が変わっても、時間を考えたり、先を見通したり、周りを見たりして、自分で考えて動く力となって身に付いていくのだなと感じました。

- ・スコアオリエンテーリングでは、民家の家の前を通ることもありました。そんな時は、熊鈴の音が迷惑にならないように鈴を手で握って歩いていました。また、学校のそばを歩いたときは、自分たちが通ることで、気が散ってはいけないと腰をかがめながら、生垣に隠れるように歩いていました。
- ・総合的な学習の時間に取り組んでいるSDGs。自然の家でも実践していました「ストップ ザ っ ぱなし」と声をかけながら、野外炊飯の片付けの時には、節水を心がけたり、部屋を移動する際には必ず、消灯の確認をしたりしていました。もちろん、使った用具や道具の整頓や片付けも指示を待つことなく行っていました。

テントの設営



スコアオリエンテーリング



フォーク作り



野外炊飯



まきまきパン作り



イニシアティブゲーム



3日間で得た学びを今後の学校生活で生かし、さらに力強く利賀小学校を引っ張っていくことができるよう支援していきます。

(高田 公美)